

道路を歩く時の注意

子どもの交通事故の多くは「飛び出し」です。

『 お子さんと道路を歩く時のチェック！ 』

- 手をつないでいますか？
- 大人が車道側を歩いていますか？



飛び出しに事故につながる

子どもの特性

- ① 気分によって行動が変わる
- ② 夢中になると周りが見えなくなる
- ③ 視野が狭く目線が低い

～歩く場所も大切です～

歩道がある道路では歩道を歩きましょう。
路側帯がある道路では路側帯を歩きましょう。
歩道も路側帯もない道路では車と対面通行になる右側通行をしましょう。

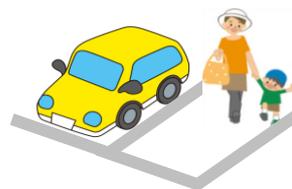


駐車場での注意

駐車場での子どものひとり歩きは危険です。

★ 必ず手をつないで歩きましょう

駐車場内での事故が多発しています。
送り迎えや買い物時など、いつも行く慣れた場所でも必ず手をつなぐ習慣をつけましょう。



★ 子どもを先に降ろさないようにしましょう

車に乗る時は子どもを先に乗せ、降りる時は大人が先に降りて、子どもを降ろすようにしましょう。



自転車乗車中の事故にも注意が必要です。

お子さんが自転車に乗る際は必ず付き添い、1人で道路に出ないように注意しましょう。

また、お子さんを自転車に乗せるときはヘルメットを着用させ、あご紐を締めましょう。

